

平成28年度 松江赤十字乳児院 自己評価表

共通評価基準(45項目)

I 養育・支援の基本方針と組織		
1 理念・基本方針		
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		自己評価
1① 理念・基本方針が明文化されて周知が図られている。		b
2 経営状況の把握		
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価
2① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		a
3② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。		a
3 事業計画の策定		
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価
4① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		b
5② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		b
(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価
6① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		b
7② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		b
4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組		
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価
8① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		b
9② 評価結果に基づき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		b
II 施設の運営管理		
1 施設長の責任とリーダーシップ		
(1) 施設長の責任が明確にされている。		自己評価
10① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		a
11② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		b
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		自己評価
12① 養育・支援の質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。		b
13② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		b
2 福祉人材の確保・育成		
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価
14① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a
15② 総合的な人事管理が行われている。		b
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価
16① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		b
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価
17① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		b
18② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		b
19③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価
20① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		b
3 運営の透明性の確保		
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価
21① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		a
22② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		a
4 地域との交流、地域貢献		
(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価
23① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		a
24② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a
(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価
25① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		b

(3)	地域の福祉向上のための取組を行っている。	自己評価
26	① 施設が有する機能を地域に還元している。	b
27	② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	a
<b>Ⅲ 適切な養育・支援の実施</b>		
<b>1 子ども本位の養育・支援</b>		
(1)	子どもを尊重する姿勢が明示されている。	自己評価
28	① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。	b
(2)	養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	自己評価
30	① 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
31	② 養育・支援の開始・過程において保護者等に分かりやすく説明している。	b
32	③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
(3)	子どもの満足の向上に努めている。	自己評価
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(4)	保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。	自己評価
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
35	② 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
36	③ 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(5)	安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	自己評価
37	① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<b>2 養育・支援の質の確保</b>		
(1)	養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	自己評価
40	① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
(2)	適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	自己評価
42	① アセスメントに基づく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
43	② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
(3)	養育・支援の実施の記録が適切に行われている。	自己評価
44	① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a

#### 内容評価基準(22項目)

<b>A-1 子ども本位の養育・支援</b>		
(1)	子どもの尊重と最善の利益の考慮	自己評価
1	① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	b
(2)	被措置児童等虐待対応	自己評価
2	① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
3	② 子どもに対する不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
4	③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b

<b>A-2 養育・支援の質の確保</b>		
(1)	養育・支援の基本	自己評価
5	① 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	a
6	② 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
7	③ 子どもの発達を支援する環境を整えている。	b
(2)	食生活	自己評価
8	① 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	b
9	② 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a

10	③	食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	b
11	④	栄養管理に十分な注意を払っている。	a
(3) 衣生活			自己評価
12	①	気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
(4) 睡眠			自己評価
13	①	乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
(5) 入浴・沐浴			自己評価
14	①	快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
(6) 排泄			自己評価
15	①	乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	b
(7) 遊び			自己評価
16	①	発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	b
(8) 健康			自己評価
17	①	一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
18	②	病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
(9) 心理的ケア			自己評価
19	①	乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
(10) 施設と家族との信頼関係づくり			自己評価
20	①	施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	b
(11) 親子関係の再構築支援			自己評価
21	①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
(12) スーパービジョン体制			自己評価
22	①	スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	b